

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 高齢者大腿骨転子部骨折の 20 年推移にみる骨折型と全身状態の変化

[研究責任者] 整形外科 部長 宮本俊之

[研究の背景]

高齢者大腿骨転子部骨折は高齢化の進行に伴い増加が見込まれ、周術期リスクの高い症例が増える可能性があります。骨折型や全身状態の経年変化を把握することは、診療体制の改善や医療資源配分の検討に資すると考えられます。

[研究の目的]

当院で手術を受けた高齢者大腿骨転子部骨折について、20 年間の患者背景、全身状態 (ASA-PS)、骨折型 (AO/OTA 分類) の推移を明らかにします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2006 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までに国立病院機構長崎医療センター整形外科で大腿骨転子部骨折に対して手術加療を行った 65 歳以上の患者さん

●研究期間: 倫理委員会承認日～西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：該当なし

カルテ情報：1.受傷時年齢、2.性別、3.ASA-PS、4.単純 X 線による AO/OTA 分類、5.使用インプラント、6.入院から手術までの待機時間

●検体や情報の管理

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院

の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

研究責任者 整形外科 部長 宮本俊之

電話番号:0957-52-3121(代表)